

しゅん工に向けた様々な取り組み <再処理工場 外部火災対策（薬品貯槽の地下への移設）>

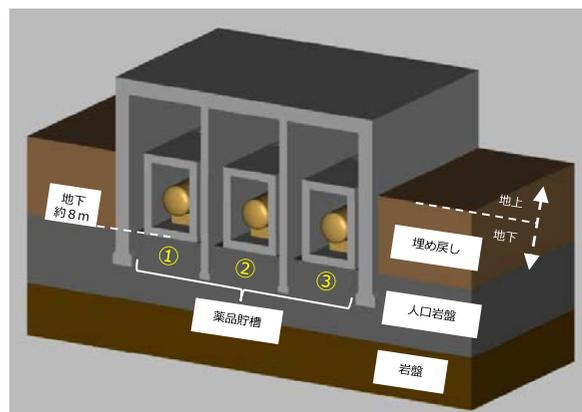
1. 外部火災対策

当社は施設の安全性向上対策として、「森林火災」「近隣の産業施設の火災・爆発」「航空機墜落火災」の外部火災を想定して対策を講じます。

再処理工場の敷地周辺で発生した外部火災に対しては、建屋への延焼を防ぐために、幅約25m以上・全長約8kmの防火帯を設置するほか、航空機墜落火災によって地上にある薬品貯槽が火災源・爆発源とならないよう、薬品貯槽を地下へ移設する大規模な工事を実施しています。

地上にある3つの薬品貯槽※は航空機墜落火災の熱影響を受けることにより大きな火災や爆発を引き起こし、周辺の安全上重要な設備を収納する建屋を損傷させる恐れがあることから、それらの薬品貯槽が火災源・爆発源とならないよう、地下へ移設します。

- ※①「硝酸ヒドラジン受入れ貯槽」
- ②「n-ドデカン受入れ貯槽」
- ③「TBP受入れ貯槽」



対策後のイメージ図

※<用語解説>

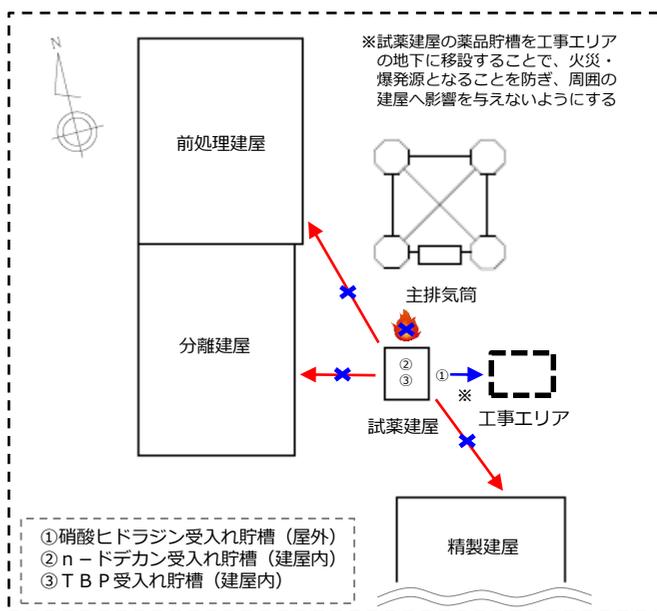
- ①硝酸ヒドラジン：溶解液から抽出したウランおよびプルトニウムをさらに分離するために、プルトニウムを抽出されやすい化学形態に変える試薬。
- ②n-ドデカン：TBPの希釈剤。
- ③TBP：リン酸トリブチル。溶解液に含まれるウラン、プルトニウムおよび核分裂生成物のうち、ウランおよびプルトニウムを抽出するために使用される抽出剤。

2. 薬品貯槽の地下への移設

現在、地上から約15mの深さまで掘削して薬品貯槽を収納する躯体を設置しているところです。

薬品貯槽は、地下約8mの位置に据付けます。

今後、躯体工事と並行して新しい薬品貯槽、移送ポンプ、配管等の設置を進め、躯体完成後、埋め戻し工事を実施します。



- ①硝酸ヒドラジン受入れ貯槽（屋外）
- ②n-ドデカン受入れ貯槽（建屋内）
- ③TBP受入れ貯槽（建屋内）

配置図

3. 現在の工事状況



試薬建屋 外観



①硝酸ヒドラジン受入れ貯槽（屋外・地上）



②n-ドデカン受入れ貯槽（試薬建屋内・地上）



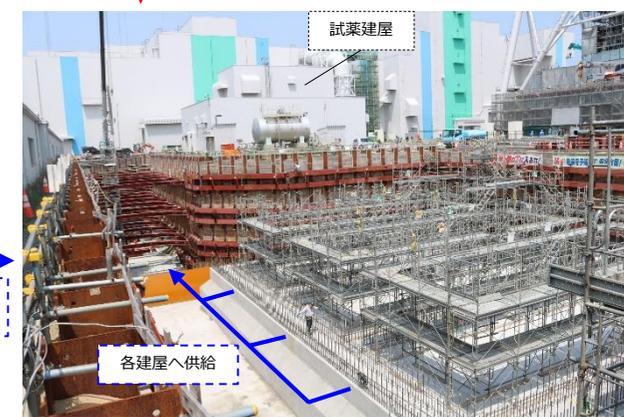
③TBP受入れ貯槽（試薬建屋内・地上）



工事实施前の状況



掘削状況（2020年3月撮影）



現在の工事状況（2020年6月撮影）

地下への移設

各建屋へ供給